



発行日：2025年 1月 27日
 発行者：井上瞬

雑学って役立つの？

2025年 2月 講師予定表

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
定休日	井上・柿沼 (18:30～21:30)	尾池 (18:30～21:30)	山口 (18:00～21:00)	尾池 (18:30～21:30)	青木 (18:30～21:30)	尾池 (9:00～12:00, 13:00～16:00)
2	3	4	5	6	7	8
尾池 (9:00～12:00, 13:00～16:00)	青木・柿沼 (18:30～21:30)	尾池 (18:30～21:30)	山口 (18:00～21:00)	井上 (18:30～21:30)	山口 (18:30～21:30)	定休日
9	10	11	12	13	14	15
定休日	柿沼・小松 (18:30～21:30)	尾池 (18:30～21:30)	山口 (18:00～21:00)	小松 (18:30～21:30)	青木 (18:30～21:30)	尾池 (9:00～12:00, 13:00～16:00)
16	17	18	19	20	21	22
深野 (9:00～12:00, 13:00～16:00)	下松・深野 (18:30～21:30)	尾池 (18:30～21:30)	山口 (18:00～21:00)	尾池 (18:30～21:30)	小澤 (18:30～21:30)	深野 (9:00～12:00, 13:00～16:00)
23	24	25	26	27	28	1
尾池 (9:00～12:00, 13:00～16:00)	柿沼・下松 (18:30～21:30)	尾池 (18:30～21:30)	山口 (18:00～21:00)	井上 (18:30～21:30)	小澤 (18:30～21:30)	定休日

※あくまで予定です。予告なく変更する場合があります。()内は自習室利用可能時間。

～お知らせ～

・公立高校入試まであとわずか！

2月20日、21日に群馬県公立高校入試があります。あと1か月です。受験生でなくともいずれ立ちはだかる試験として意識してみるとよいでしょう！

・3学期期末テスト間近！

受験生ではない生徒にとってはこっちの方が重要かもしれません...！それが終わったら肩の荷が降りると思えますので、あと数週間頑張ってみましょう！

・体調に気をつけていきましょう

いろいろ風邪や病気が未だに流行っています。マスクを着用するなどして予防していきましょう！

～今月のひとこと～

お世話になっております。講師の井上です。
 ここで話したいのはずいぶん久しぶりかなと思います。
 さて、ここで話したいことは「雑学のすばらしさ」です。
 雑学とは別名「トリビア」とも言われており、文字通り雑多な、取るに足らない知識である物の総称とされています
 (Wikipedia引用)。そのほとんどは学校で習わない知識ばかりです。
 ・太陽は地球の33万倍の質量である。
 ・赤城山は50万年前からの火山活動が今も継続中(最後は大体3万2000年前、活動している判定)
 ・人が1度に見える星の数は4,000個程度(6等星)。
 ・千年前と今の日本語の発音は全然違う(ちょうちよ→てふてふ)。
 具体例としてはこんな感じですが、これは学校では習うことはありません、ただ、身近な出来事に関して何か興味を持ちませんか？「そうなんだ」、「意外」が勉強への第一歩かもしれません。
 自分でそのようなことを探してみてもよいかも...

月刊連載コラム【課題発見のタネ】一粒目

◆万博でも注目される食材の驚きのパワーとチョコレートの新たな可能性とは？

食品廃棄物を新たな素材として生まれ変わらせる技術で注目を集めているのが、東大発のベンチャー「fabula (ファブラ)」。この新技術の生みの親である代表の町田さんは東京大学の卒業研究で食品廃棄物から新素材を生み出すことに成功し、2021年に起業。

粉末状にした食品廃棄物を金型に入れて熱を加えながら約1分間プレスすることで新素材を製造しており、ほうれん草はコンクリートの2倍以上の強度、白菜はコンクリートの約4倍の曲げ強度を誇るという。食品廃棄物から作られるこの新素材は基本的にコンクリートよりも強度が高いという研究結果が得られており、100%自然由来のためペットが舐めたり噛んだりしても害が無いことも利点に挙げられる。

この技術の可能性にチョコレートなどを扱う「明治」も注目し、チョコレートの製造過程で取り除かれるカカオ豆を包む皮「カカオハスク」を活用する研究に着手。カカオハスクは家畜の餌や肥料に使われてはいるものの、あまり価値がつかず年間5千トンほど廃棄されていたが、fabulaとの共同研究によってお皿やコースターをカカオハスクから作ることに成功。カカオ産地では現在も児童労働や森林減少といった社会課題があり、その背景には貧困があると言われている。明治では2006年からカカオ農家の支援も行っており、この製品の収益を農家に還元していきたいという。

fabulaが開発した新素材は今年開催される大阪・関西万博でも施設の一部で建材として採用されており、今後も注目が高まるばかりだ。

(尾池)